

2017年度（平成29年度）

研究部門名 数学・情報数理学研究部門

講座名 確率・統計講座

教員名 井上 玲

電子メール reiy@math.s.chiba-u.ac.jp

※メール送信の際は、「理」を半角@に変更してください。

### （1）研究論文などのリスト（印刷中を含む）

・著書、原著論文、総説、解説などを続けて記載すること

（1）研究活動の実施状況と対応させる。著者・発表者等，タイトル，発表雑誌・会合等，巻・号，頁，発行・発表年等，掲載論文の DOI（付与されている場合）

	著者・発表者等	タイトル	発表雑誌・会合等	巻・号	頁	発行・発表年等	掲載論文の DOI(付与されている場合)
(1)	Rei Inoue, Thomas Lam and Pavlo Pylyavskyy	On the cluster nature and quantization of geometric R-matrices	Publ. Res. Inst. Math. Sci.	印刷中			
(2)	井上 玲	クラスター代数 の双曲幾何へ の応用	リーマン面に 関連する位相 幾何学 2017 予稿集		P. 42 -- 53	2017年	

### （2）卒業研究、大学院修士および博士論文修了指導人数

- ・卒業研究 4 名
- ・大学院修士 1 名
- ・大学院博士 0 名

### （3）教育業績（自己申告、テキストの作成など、授業の工夫など）

普遍教育科目（統計学 A、統計学 B1）では、講義内容に沿った演習問題のプリントを配布して演習を積極的に行い、基本事項の理解を促した。

(4) 国際会議出席と招待リスト

- ・ New development in Teichmuller space theory, 日本(OIST 沖縄), 2017年11月28日, Networks on Cylinder and discrete integrable systems (招待講演).
- ・ Integrable Systems 2017, オーストラリア, 2017年12月7日, Cellular sutomata for reduced words in the affine symmetric group (招待講演).
- ・ Cluster Algebras: Twenty Years On (CIRM, France) 2018年3月19~23日, R-matrices in cluster algebra (招待講演).

(5) 新聞や雑誌等で報道された研究成果等 (報道媒体, 報道年月日, 報道内容等)

(6) 国際並びに国内学会での受賞 (賞名, その内容, 受賞理由等)

(7) 国際共同研究 (共同研究名, 研究内容等)

所属	職名	氏名	共同研究名	研究内容	年度
ミネソタ大学, オハイオ州立大学	准教授, 研究員	Max Glick, Pavlo Pylyavskyy;	Soliton cellular automata associated with infinite reduced words	A型ワイル群の簡略語に対して定まるセルオートマトンの族を新しく構成し、そのソリトン解を求めた。さらに箱玉系との関係を明らかにした。	29

(8) 地域・社会と連携した教育・研究活動, 学会、国、県などへの協力, など

(9) 特許 (発明者名, 発明の名称, 出願日, 出願番号, 整理番号等) (現時点で公表できるもののみ)